

地域連携室だより

〒930-8550 富山市西長江2-2-78 | TEL 076 (424) 1531 | https://www.tch.pref.toyama.jp/



診療科の紹介

眼科



外来受診表

	月	火	水	木	金
初診	満保	満保 山田	西野	西野	Ш⊞
再診	Ш⊞	山田	Ш⊞	満保	西野
再診	西野	西野	満保	水野	満保
再診	水野	水野	水野		水野

眼科スタッフ

後列左より:今泉視能訓練士、市井視能訓練士、須永副主幹、新庄看護師

前列左より:西野副医長、満保医師、水野医師、山田部長

◆診療体制

2022年8月現在、山田成明部長、西野翼副医長、満保祐己医師、水野一輝医師の4名の常勤医師、非常勤医師2名で、外来および入院診療を行っております。 外来診療の担当は右上表の通りです。

午前中は外来診療が主で、午後は精密検査、硝子

体内注射、その他処置を行っております。手術日は火・水・木・金の午後です。平成30年度から医師4人体制となり、柔軟な対応が可能になりました。手術日であっても急患の相談等に、可能な限り対応いたします。よるしくお願いいたします。

◆診療内容

当院では、角膜移植と涙道・斜視手術を除くほぼすべての疾患に対応しております。とくに、裂孔原性網膜剥離や、急性閉塞隅角症、眼内炎などの緊急手術を要する急患は原則すべて受け入れられるよう、院内体制を整備し、即日の対応を心がけております。感染症流行下でしたが、昨年度も富山県全域の他、岐阜県飛騨地方、新潟県上越地方など、県外からも多くのご紹介を頂きました。

2021年度は、手術件数は774件でした。入院での 手術を原則としておりますが、70歳以下で基礎疾患が 無く、家族のサポートを得られる方には日帰り手術も 行っております。手術室はアルコン社Constellation® と、広角観察システムのカールツァイス社のResight® を完備し、火・水・木・金曜日の午後に1列で、白内障 4件・硝子体手術1-2件を行っております。裂孔原性網 膜剥離や穿孔性眼外傷などの急患は即日対応を心がけています。私が2018年に赴任してからの4年間では、 クマ咬傷の患者さんが2人こられ、午前様まで手術を 行ったのは特に印象に残っております。

網膜剥離では黄斑が剥離すると、剥離して数日で視細胞のアポトーシスが始まるため、黄斑に迫る網膜剥離や黄斑剥離後間もない症例は、ご紹介の当日ないしは翌日に手術を行っております。当院では中高年での後部硝子体剥離に伴う網膜剥離の方が、若年の萎縮円孔に比べて多いため、8割から9割程度は硝子体手術を選択します。下方の網膜剥離の場合はバックルを併用する場合もあります。若年者の網膜剥離は、進行が比較的遅く、自覚症状に乏しいことがあるので、コンタクトレンズを作る際の眼底検査で偶発的に発見された方が今年の上半期に2名来られ、若年者においても眼底検査の必要性を痛感しました。これらの患者さんは、広角眼底撮影で網膜剥離が他院で発見され、同様な広角眼底カメラの導入の有効性を強く感じております。

緑内障手術は、通常の原発開放隅角緑内障や落屑 緑内障ではまずはトラベクロトミー眼内法を選択して おります。血管新生緑内障、眼圧が非常に高い症例や 視野進行が速い症例は初回からトラベクレクトミーを 選択しております。若年のぶどう膜炎の続発緑内障な ど、高難度の場合は金沢大学ないしは富山大学附属 病院にご紹介しております。急性閉塞隅角症に対して は、薬物治療で解除が得られない場合は、初診の当日に水晶体再建術を行っております。レーザー虹彩切開術は、角膜内皮保護の観点から現在は行っておりません。

◆症例呈示

症例は80歳代の女性です。左眼が頼りの眼でしたが、白内障のため徐々に見づらくなったため、手術の相談のために当科を受診されました。右眼はもともとコロボーマという発生異常のため視力は0.05程度だったのではないかと思われました。初診時の視力は右眼手動弁(矯正不能)、左眼0.1 (0.15)で、右眼は高度の白内障と虹彩の形態異常がみられ(図1)、左眼は中等度の白内障が見られました(図2)。



図1 右眼 コロボーマによる瞳孔偏位、虹彩癒着、高度な白内障

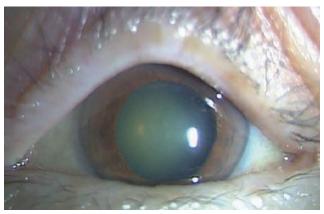


図2 左眼 散瞳良好な、中等度の白内障

まずは、左眼の水晶体再建術術を施行しました。手術1週間後には左眼の視力は1.2 (矯正不能)に改善しました(図3)。もともと右眼はあまり見えなかったので、実生活は左眼でされていたであろうこと、難しい手術が予想されることから、右眼の手術を行う利点は多くないように思われました。しかし、ご本人様は「鏡をみると右眼が白いのがすごく気になる」とのこと、手術を行うことにいたしました。右眼は瞳孔が下方へ偏位、



図3 左眼 白内障術後 縮瞳状態 水晶体の混濁は取り除かれた、眼内レンズ挿入眼

癒着して散瞳しないうえ、白内障は極めて高度なため 難手術が予想されました。

図4-7は手術写真です。これらの写真は、患者さんの頭側から見たものなので、図1とは上下左右が逆になっております。通常は、2.5mm程度の創口から、超音波乳化吸引法で白内障を破砕・吸引しますが、本症例では白内障の支えが弱く、その方法は難しいと思われました。そのため、10mm程度の創口を上方(図4-7では下方)にあけて、そこから水晶体を摘出いたしました。手術を経て、無事に右眼は鏡でも黒く見えるようになり、視力は矯正(0.05)まで回復しました(図8)。視力のみならず、白内障による整容面が気になる



図 4 右眼 手術写真① 虹彩を剪刀で切開

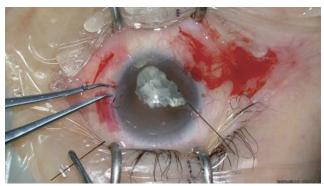


図 5 右眼 手術写真② 瞳孔を拡張する器具を装着



図 6 右眼 手術写真③ 石灰化した前嚢を2手法で切開



図 7 右眼 手術写真④ 上方の11mmの強膜切開から、褐色の白内障を娩出。 写真右下に摘出された褐色の白内障がある。 眼内に見えるのは、白内障の皮質。

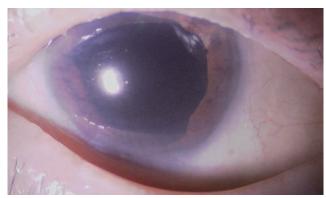


図8 右眼 術後 不可逆散瞳状態だが、「鏡で白く見える」という主訴は改善された。

という患者さんの視点にたった診療の重要性を痛感い たしました。

日頃より当院へご紹介くださる先生方には、本誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。ご紹介して頂くからには、患者さんにも紹介元の先生方にもご期待に添える医療を提供出来るよう今後も微力ながら励んで参ります。今後とも、温かいご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(文責 西野 翼)

リウマチ・和漢診療科のご案内

専門領域と治療内容の特徴

当科はリウマチ・膠原病と漢方の診療を担当しています。リウマチ・膠原病疾患に対しては、生物学的製剤や分子標的薬などの最先端の西洋医学を駆使しています。外来診察室で関節エコーを用いて、関節症状に対する早期(鑑別)診断、関節リウマチの疾患活動性のタイトコントロールなどを行っています。

漢方診療に関しては漢方医学の考えを基本に治療を行っていますが、現代医学の優れたところも取り入れ、院内外の他の診療科とも連携し、患者さんが 最良の医療を受けられるように考えています。漢方治療は、生薬を使用する煎じ薬とエキス製剤を患者さんに合わせて選んでいます。西洋医学で対応が難し い異常に対しても、漢方医学の応用でうまくいく場合があります。心と体は一体という東洋医学の「心身一如」の考えを大事に診療しています。

当院は、日本リウマチ学会と日本東洋医学会の教育認定施設となっていますが、当科はその責任診療科の役割を担っています。また、線維筋痛症の診療ネットワークに参加して、多くの患者さんを診療しています。

医師紹介

経験豊富なスタッフが万全な体制で治療をサポート



部長 ふじなが ひろし **藤永 洋**

【(患者さんに向けた) 一言】

・患者さんが少しでも笑顔になれるように努めます。

【自身の専門性 (手技他) アピール】

・リウマチ・膠原病、漢方診療

【専門医資格】

日本リウマチ学会リウマチ専門医・指導医、日本東洋医学会認定漢方専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医・指導医



副医長 gぎした なおなり **杉下 尚徳**

【(患者さんに向けた) 一言】

・気になる事がございましたら、遠慮なくお訊

【自身の専門性 (手技他) アピール】

・リウマチ・膠原病

【専門医資格】

日本内科学会認定内科医、日本リウマチ学会 リウマチ専門医



医師

_{むかい} こうじ **向井 公志**

【(患者さんに向けた) 一言】

・患者さんの生活の助けに少しでもなれるよう、 丁寧な診察を心がけます。よろしくお願いい たします。

【自身の専門性 (手技他) アピール】

・リウマチ・膠原病



医師

カたなべ てっま渡辺 哲郎

【(患者さんに向けた) 一言】

辛さからわずかでも抜け出せるよう取り組みます。

【自身の専門性 (手技他) アピール】

・リウマチ、膠原病、漢方診療

【専門医資格】

日本東洋医学会認定漢方専門医・指導医、日本リウマチ学会リウマチ専門医・指導医・登録 ソノグラファー、日本内科学会総合内科専門医・ 指導医、日本プライマリ・ケア連合学会プライ マリケア認定医・指導医



医師

嶋田豊

【(患者さんに向けた) 一言】

・漢方と内科が専門です。金曜午前の外来担当 ですが、お気軽に受診してください。

【自身の専門性 (手技他) アピール】

・漢方診療、日本東洋

【專門医資格】医学会漢方專門医、日本內科学会総合內科專門医、日本消化器病学会專門医



医師

林则秀

【(患者さんに向けた) 一言】

・わかりやすい説明と、安心して治療を受けられるように努めます。

【自身の専門性 (手技他) アピール】

・リウマチ・膠原病

【専門医資格】

日本リウマチ学会リウマチ専門医・登録ソノグ ラファー

外来診療担当表

	月	火	水	木	金
初診 (リウマチ・膠原病)	藤永	杉下/林	藤永	杉下	杉下
初診 (漢方)	藤永	藤永	藤永	渡辺	嶋田
再診	杉下/藤永	向井/藤永/林	杉下/藤永	杉下/渡辺	杉下/藤永/嶋田

助産師外来・院内助産の紹介

当院は2007年2月より助産師外来を開設しました。助産師が医師と連携しながら妊娠中の妊婦健診や保健相談を行う外来です。妊娠期間を健康で快適に過ごし、満足いくお産ができるように、妊婦さんとゆっくり話をしながらアドバイスしています。

院内助産は、助産所のようなアットホームなお産と病院の高度な医療が提供できるお産、その両方の良い部分を提供できるシステムとなっています。当院では2021年10月より院内助産を始めました。妊娠中は、医師の健診と交互に助産師外来を受診してもらい、健康管理や骨盤ケア、乳房の手入れなどをアドバイスするとともにバースプランについても話し合いを重ねます。バースプランでは「お産をどのように過ごしたいか」「誰に立ち会ってもらいたいか」「どんな姿勢で産みたいか」など主役である妊婦さんを中心にご家族の希望なども聞きながら、細かく計画していきます。



助産師外来

出産のときは家庭的であたたかい雰囲気の中で 自然に赤ちゃんを迎えることができるよう、ご家族 とともに寄り添います。お子さんの立ち会いも歓迎 しています。分娩台を使わず自由で楽な姿勢でのお 産を介助します。医療介入のないお産をしますが、 必要時は医師の診察や分娩立ち会いを依頼します。 出産後は母乳育児がスムーズにできるよう支援して います。

当院の役割として新型コロナ陽性妊婦の出産を受け入れることが多くなり、現在は管理上の都合から院内助産を休止しています。コロナ禍が終息に近づき、再び院内助産が始められたときにはたくさんのお産をサポートしたいとスタッフー同願っています。



院内助産

ご利用概要

診療日時	月~金 9:00~11:30 完全予約制(1人30分)		
場所	助産師外来		
担当	産科病棟の助産師		
対象	妊娠 24 週以降で医師が助産師外来を許可した妊婦		
受付	保健相談室または担当医に助産師外来の希望があることを申し出てください。		

連携談話会・症例検討会のご案内

★…医療機関スタッフの方々の公開学習の場としています。お気軽にご参加ください。

12月開催予定

★第162回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード

日時: 令和4年12月1日 (木) 17時から 場所:富山県立中央病院 5階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会 (二木会)

日時:令和4年12月8日 (木) 19時から 場 所: 富山県立中央病院 中央病棟B 1階会議室

★中央病院病診連携談話会

日時:令和4年12月12日 (月) 19時から 場所: 富山県立中央病院 5階ホール

★在宅緩和ケア懇話会

日時: 令和4年12月13日(火) 18時30分から(1時間程度)

場所:富山県立中央病院 5階ホール

★糖尿病療養指導のための講習会

日時: 令和4年12月23日 (金) 17時から 場所:富山県立中央病院 5階ホール

講義:「妊娠と耐糖能異常」

問題演習:「血糖測定機器 Up Date」

療養指導の実際:

「耐糖能異常を伴う妊娠の管理~症例を通して~」

呼吸器キャンサーボード

日時: 令和4年12月6、13、20、27日(火) 16時30分から

場 所: 富山県立中央病院 中央病棟B 1階会議室

1月開催予定

★第163回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード

日時: 令和5年1月5日 (木) 17時から 場所:富川県立中央病院 5階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会 (二木会)

日時: 令和5年1月12日 (木) 19時から 場 所: 富川県立中央病院 中央病棟B 1階会議室

★中央病院病診連携談話会

日時:令和5年1月16日 (月) 19時から 場所: 富山県立中央病院 5階ホール

胸部レントゲンカンファレンス

日時: 令和5年1月19日 (木) 19時から 場 所: 富山県立中央病院 中央病棟B 1階会議室

★糖尿病療養指導のための講習会

日時: 令和5年1月27日 (金) 17時から 場所: 富山県立中央病院 5階ホール 講義: 「高齢者糖尿病の病態と留意点」 問題演習:「糖尿病注射製剤 Up Date」 療養指導の実際:

「透析室での糖尿病の足病変とフットケア指導の実際」

呼吸器キャンサーボード

日時: 令和5年 1月10、17、24、31日(火) 16時30分から

場 所: 富山県立中央病院 中央病棟B 1階会議室

換気、手指消毒、ソーシャルディスタンス確保、環境整備を徹底して実施いたします。

2 12月の外来診療に関する医師不在日

科 名	医師名	不 在 日
消化器内科	松田(耕)医師	22日(木)、23日(金)
精 神 科	野原医師	16日(金)
	米澤医師	9日(金)
	天谷医師	28日(水)
 外 科	羽田医師	8日(木)
21 14	廣瀬医師	8日(木)
	倉田医師	8日(木)
整形外科	相川医師	20日(火)
脳神経外科	青木医師	23日(金)

科名	医師名	不 在 日	
産婦 人科	谷村医師	1日(木)	
眼科	山田医師	7日(水) ~ 9日(金)、14日(水)、 21日(水)、28日(水)	
	西野医師	16日(金)、23日(金)	
歯科口腔外科	小島歯科医師	12日(月)、27日(火)	
图件口腔外件	倉部歯科医師 5日(月)		
放射線治療科	豊嶋医師	14日(水)、21日(水)	
	髙医師	5日(月) ~ 7日(水)	

※不在日につきましては、代わりの医師が対応いたします。

受診にあたってのお願い

日頃より、地域連携室業務に多大なるご協力をいただき感謝 申し上げます。時折、予約なく診療情報提供書をお持ちになっ て来院され、当日の受付枠がいっぱいで、後日の予約を取って お帰り頂く場合があります。ご面倒でも、受診前に地域連携室 にお電話いただき予約をお願いします。その際には診療情報提 供書を事前に FAX いただきますと診療までの待ち時間の短縮 にもつながりますので、ご理解とご協力を賜りたく存じます。何 卒よろしくお願いいたします。

編集後記

11月は霜月ともよばれ朝晩の冷え込みも厳し くなり、そろそろ冬支度の季節がやってきたと感 じています。立山では平年より6日早く今シーズ

ンの初冠雪が観測されたそうです。我が家でも例年よりも早めにこ たつを出しました。愛犬もこたつ布団の上で丸まったり中に潜り込ん でながくなったりしながら心地よさそうにしています。今年の冬もラ ニーニャ現象の影響をうけて大雪の可能性があるといわれています。 早めに準備を整えて本格的な冬の訪れに備えたいと思います。寒さ が増す中、皆様お体にお気をつけてお過ごしください。



(地域連携室看護師 溝口静香) 立山連峰初冠雪(当院9階より撮影)

「地域連携室だより」の送付を希望されない場合は 下記までご連絡下さい。

富山県立中央病院 地域連携室

○代表電話 076 (424) 1531/内線3177

○予約専用 076 (491) 7160

 \bigcirc FAX 076 (491) 7109 がん診療に関する相談支援センター

ホームページアドレス https://www.tch.pref.toyama.jp/

地域連携室(医療機関向け)電話076-424-1531/内線3177

メールアドレス chiikirenkei@pref.toyama.lg.jp

医療相談室(患者・ご家族向け)電話076-424-1531/内線9130・9307 メールアドレス kango@pref.toyama.lg.jp